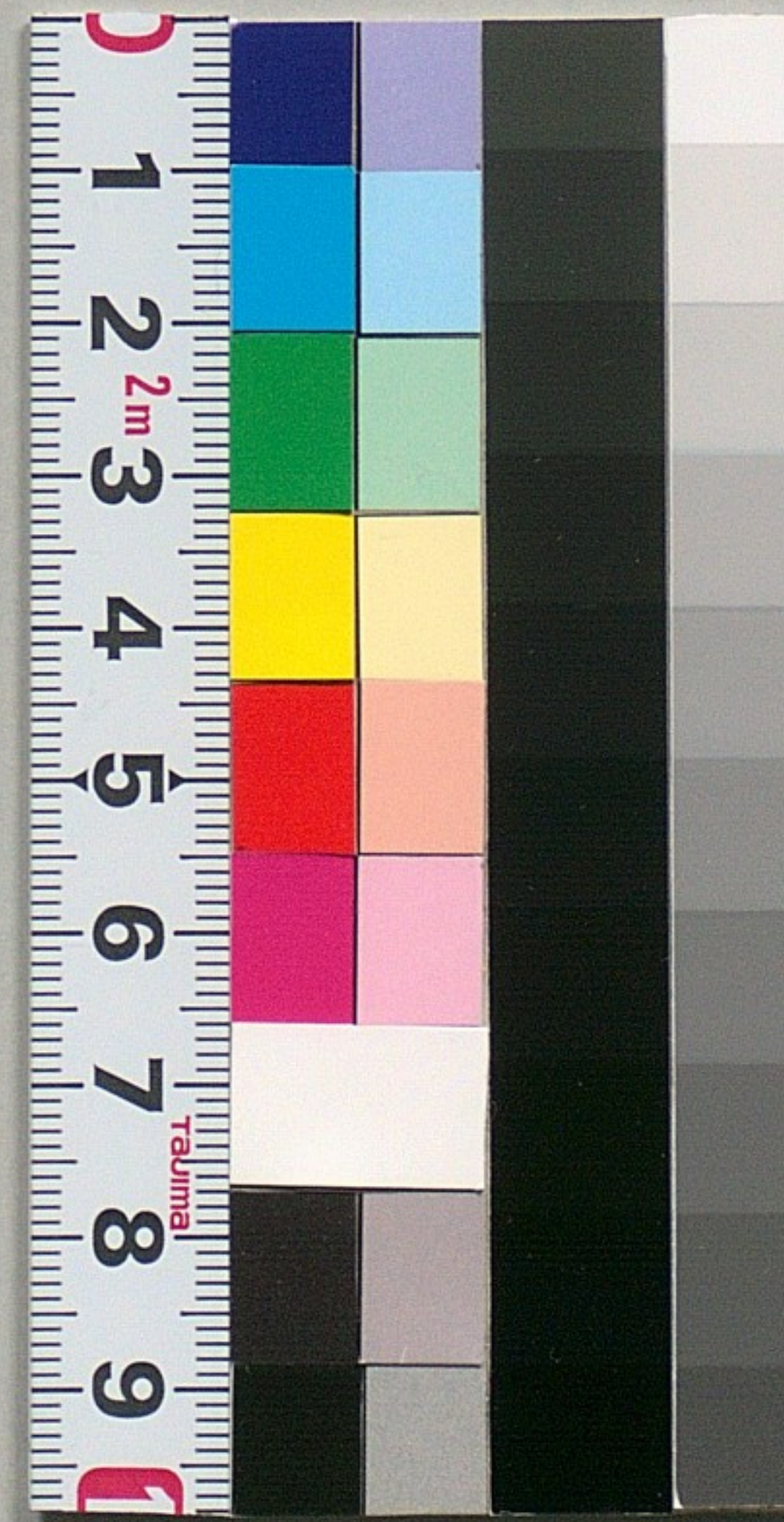


近 代 日 本 畫
名 家 展 覽 會 目 錄

大 禮 記 念 京 都 美 術 館



昭和十年自三月十日至二十五日

近代日本畫名家展覽會目錄

大禮記念京都美術館

近代日本畫名家展覽會目錄

巨勢 小石

名は金起、天保十四年九月十八日京都に生る。金岡三十八世の孫と稱ふ。幼時家父金親に就き、後中西耕石岸連山に學ぶ處あり、明治二十一年四月京都畫學校教授となる。同三十三年四月歿、享年五十八歳。

一 觀 世 音 絹本着色

一幅 京都市 法 然 院 藏

二 出 山 釋 迦 絹本着色

一幅 京都市 内 貴 清 兵 衛 氏 藏

鹽 川 文 麟

字は子溫、通稱圖書。享保六年京都に生る。畫を岡本豐彦に學ぶ。明治十年五月十一日歿。享年七十歳。

三 坂 上 田 村 磨 金地極彩色

六曲屏風 一雙 京都市 平 井 仁 兵 衛 氏 藏

四 瑩 紙本淡彩

六曲屏風 一雙 京都市 清 水 六 兵 衛 氏 藏

中 島 來 章

字は子慶、寛政八年二月大津に生る。初に渡邊南岳、後・圓山應瑞に學ぶ。明治四年七月十五日歿、享年六十六歳。

- 五 法螺貝 紙本淡彩 一幅 京都市 竹内栖鳳氏藏
- 六 小督 絹本着色 一幅 京都市 内貴清兵衛氏藏
- 七 雙鶴 絹本着色 一幅 京都市 石田吉左衛門氏藏

鈴木百年

名は世壽、字は子孝。通稱圖書。文政十年五月二十八日京都に生る。岸連山に就き、更に蕪村吳春百谷對山等の畫風を學ぶ。明治二十四年十月二十六日歿、享年六十七歳。

- 八 歸去來 絹本着色 一幅 京都市 石田放光堂氏藏
- 九 西苑雅趣 絹本着色 一幅 京都市 石田吉左衛門氏藏
- 一〇 百老 金地極彩色 六曲屏風 一雙 京都市 篠田幸二郎氏藏
- 一一 福祿壽 紙本淡彩 一幅 京都市 鈴木務氏藏
- 一二 梅花水禽 絹本着色 雙幅 京都市 篠田幸二郎氏藏

中西耕石

名は壽、字は龜年。文化四年筑前蘆屋町に生る。小田百谷の門に入り南宗畫を究む。明治十七年一月九日歿、享年七十八歳。

- 一三 惠比須 絹本着色 一幅 京都市 高橋吉兵衛氏藏

- 一四 山水 金地墨畫 六曲屏風 一雙 京都市 田中平兵衛氏藏

山田文厚

名は平三郎、字は和平、天保十二年京都に生る。初め泉春園に學び、後鹽川文麟の門に入る。明治三十五年八月三十日歿、享年五十七歳。

- 一五 秋草鵲 絹本着色 一幅 京都市 矢代庄兵衛氏藏
- 一六 白衣觀音 絹本着色 一幅 京都市 市田秀三郎氏藏
- 一七 群仙 絹本着色 一幅 京都市 中居曠谷氏藏

幸野煤嶺

名は直豐、字は思順、通稱留三郎。弘化元年三月三日京都四條新町に生る。九歳、來章の門に入り、後文麟に學ぶ。明治二十六年九月帝室技藝員拜命。同二十八年二月二日歿、享年五十二歳。

- 一八 帝釋試三獸 絹本着色 一幅 京都市 幸野西湖氏藏
- 一九 花鳥十二ヶ月 絹本着色 十二幅 京都市 野口安左衛門氏藏
- 二〇 八坂神祭山鉾 絹本着色 一幅 京都市 野口安左衛門氏藏
- 二一 布袋 絹本淡彩 一幅 京都市 竹内栖鳳氏藏

谷口藹山

名は貞二、字は士幹、文化十三年越中富山に生る。十八歳江戸に出で谷文晁高久露厓に就き、後長

崎にて陳逸舟に學ぶ。更に京都に至り貫名海屋に入門せり。明治三十二年十二月三十日歿、享年八十四歳

三 觀	音	紙本淡彩	一幅	京都市	森本東閣氏藏
三 山	水	紙本淡彩	一幅	京都市	森本東閣氏藏
二 茂松	清泉	紙本淡彩	一幅	京都市	森本東閣氏藏
二 雪	中山水	紙本淡彩	一幅	京都市	森本東閣氏藏
二 牡	丹	紙本着色	一幅	京都市	森本東閣氏藏

森 寬 齋

名は公肅、字は子容、通稱幸吉。文化十一年長州萩に生る。藩士石田傳内の子、十二歳にして萩滿福寺の太田田龍に就き、二十二歳大阪に出で、森徹山に入門し遂にその跡を嗣ぐ。後京都に移りしも豫て勤王の志深く、平野次郎品川彌次郎小室信夫等と交友あり。明治二十三年十月帝室技藝員を拜命。同二十七年六月二日歿、享年八十一歳。

二 達磨	釋迦觀音	絹本着色	三幅	京都市	野村徳七氏藏
二 松林	瀑布	絹本着色	一幅	京都市	飯田新七氏藏
元 京人	形	絹本着色	一幅	京都市	山口玄洞氏藏

三 月下	葡萄	絹本着色	一幅	京都市	内貴清兵衛氏藏
三 高津	宮	絹本着色	一幅	京都市	石田吉左衛門氏藏

榊原文翠

名は長敏、文政八年江戸に生る。幕臣榊原長基の子、谷文晁の門に入り、後大和繪を學ぶ。明治二十四年京都市美術學校教諭となる。明治四十二年十二月二十日歿、享年八十六歳。

三 重盛	諫言	絹本着色	一幅	京都市	玉水善七氏藏
三 雪月	花	絹本着色	三幅	京都市	飯田新七氏藏
三 宮中	管絃吹奏	絹本着色	一幅	京都市	饗庭長兵衛氏藏

原 在 泉

字は子昆、原在照の男、嘉永二年四月二十三日京都に生る。畫を父に學び、明治二十四年京都市美術學校教諭となる。大正五年二月二十二日歿、享年六十八歳。

三 嵯峨	虫撰	絹本着色	一幅	京都市	飯田新七氏藏
三 足柄山	新羅三郎	絹本着色	一幅	京都市	原在寛氏藏

岸 竹 堂

本姓寺居、名は昌録、字は子和、幼名米吉。文政九年四月二十二日江州彦根に生る。藩士寺居孫二

郎の子、十一歳同藩中島安泰に就き、十七歳京都に至つて狩野永岳に學び、次で岸連山に入門しその學僕となる。後連山の嗣となり安政六年三十四歳連山の死するやその家を襲ぐ。明治二十九年六月帝室技藝員を拜命。同三十年七月二十七日歿、享年七十二歳。

- | | | | | | |
|--------|---|------|---------|-----|----------|
| 三 虎 | 豹 | 絹本着色 | 雙幅 | 京都市 | 飯田新七氏藏 |
| 三 唐 | 崎 | 絹本着色 | 八曲屏風 一雙 | 京都市 | 西村總左衛門氏藏 |
| 元 紅葉白狐 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 十合徳太郎氏藏 |
| 四 銀杏群禽 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 十合徳太郎氏藏 |
| 四 猫 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 西村總左衛門氏藏 |

重 春 塘

名は自厚、字は薄貴、天保四年十月二日京都に生る。河北春谷に學ぶ。明治三十七年一月二十一日歿、享年七十二歳。

- | | | | | | |
|--------|--|------|---------|-----|--------|
| 三 寒林棧道 | | 絹本着色 | 一幅 | 西宮市 | 村上朝七氏藏 |
| 三 柳蔭釣魚 | | 絹本着色 | 一幅 | 西宮市 | 村上朝七氏藏 |
| 四 山 水 | | 紙本淡彩 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 | 尾崎良一氏藏 |
| 五 秋聲賦意 | | 絹本着色 | 一幅 | 西宮市 | 村上朝七氏藏 |

哭 夏山仙館 絹本着色

一幅 西宮市 村上朝七氏藏

田能村直入

本姓三宮氏、名は癡、字は顧絶、幼名傳太。文化十一年二月十五日豊後竹田町に生る。長じて田能村竹田に學び、後その蹤を嗣ぐ。明治四十年一月二十一日歿、享年九十四歳。

- | | | | | | |
|--------|--|------|---------|-----|---------|
| 四 蓬萊一角 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 内貴清兵衛氏藏 |
| 四 雪中山水 | | 絹本墨畫 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 | 石田放光堂氏藏 |
| 四 山 水 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 田能村麥友氏藏 |
| 五 鍾 馗 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 西村彌兵衛氏藏 |

森川曾文

名は英綯、字は士倩、弘化四年京都に生る。前川五嶺長谷川玉峰の門に遊ぶ。明治二十四年京都市美術學校教授となり、同三十五年十二月二十七日歿す。享年五十六歳。

- | | | | | | |
|---------|--|------|---------|-----|---------|
| 五 鹿 | | 絹本着色 | 二曲屏風 一雙 | 京都市 | 下村正太郎氏藏 |
| 五 四季花鳥 | | 絹本着色 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 | 下村正太郎氏藏 |
| 五 能 舞 翁 | | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 安田耕之助氏藏 |

望月玉泉

望月玉蟾の曾孫、天保五年六月十四日京都に生る。明治三十七年帝室技藝員を拜命。大正二年九月十六日歿、享年八十歳。

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------------|-------------|
| 酉 牛 | 羊 | 金地着色 | 二曲屏風 一雙 | 京都市 林 新 助氏藏 |
| 丑 雪中蘆雁 | 絹本着色 | 六曲屏風 一雙 | 兵庫縣男爵住友吉左衛門氏藏 | |
| 癸 阿陽鳴門 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 望月玉 溪氏藏 | |

久保田米僊

名は満寛、幼名末吉。字は簡伯子。嘉永五年二月二十五日京都錦小路東洞院に生る。百遷百年に學ぶ。明治二十二年渡歐し、同二十三年國民新聞社に入二十七八年戰役に從軍、戰況を畫報す。三十二年名古屋工業學校教諭となり一年にして失明三十九年五月十八日歿、享年五十五歳。

- | | | | |
|---------|------|---------|---------------|
| 壬 半偈捨身 | 紙本着色 | 一幅 | 東京市 渡邊 安 雄氏藏 |
| 天 歌畫額 | 絹本着色 | 額一面 | 京都市 飯田新 七氏藏 |
| 丑 朝鮮青石關 | 紙本着色 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 上尾庄兵衛氏藏 |
| 酉 大楠公 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 石田吉左衛門氏藏 |
| 丑 夏景山水 | 絹本着色 | 一幅 | 東京市公爵鷹司 信 輔氏藏 |

谷口香嶠

名は雅秀、通稱槌之助、元治元年八月和泉に生る。明治十七年幸野樸嶺に入門し、同二十六年京都市美術學校教諭、同四十二年京都繪畫專門學校教授に就任し、同四十三年文展審査員となる。大正四年十一月九日歿、享年五十二歳。

- | | | | |
|---------|-------|---------|--------------|
| 丑 四季花卉 | 金地極彩色 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 雨森 民 雄氏藏 |
| 文展第四回出品 | | | |
| 丑 橋辨慶 | 金地極彩色 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 吉田 忠氏藏 |

岸米山

名は精太郎。明治十六年京都に生る。岸竹堂の外孫にして、京都市美術學校出身。明治四十三年十月十二日歿、享年二十八歳。

- | | | | |
|-------|------|----|-------------|
| 丑 吹雪猿 | 絹本着色 | 雙幅 | 京都市 飯田新 七氏藏 |
|-------|------|----|-------------|

前川文嶺

字は子緝、天保九年京都に生る。景文門前川五嶺の子、畫を父に學ぶ。大正六年歿、享年八十一歳。

- | | | | |
|--------|------|----------|--------------|
| 丑 寒梅群鴨 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 佛 光 寺 藏 |
| 丑 木賊之圖 | 金地着色 | 風爐先屏風 一隻 | 京都市 遠藤九良衛門氏藏 |
| 丑 稻荷山 | 金地着色 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 龜田利三郎氏藏 |

六曲屏風 一雙 京都市 荒川益次郎氏藏

淺井柳塘

名は永吉、天保十四年京都に生る。百々廣年谷口藏山に書を學ぶ。明治四十年十一月二十三日歿、享年六十六歳。

充寒山拾得 紙本淡彩 雙幅 京都市 西念寺藏

古不老長春 絹本着色 一幅 京都市 島津源藏氏藏

七南天水仙圖 絹本着色 額一面 京都市 島津源藏氏藏

内海吉堂

名は復、嘉永三年福井に生る。始め鹽川文麟に學び、後南宗畫に轉ず。大正十二年歿、享年七十四歳。

三棧道高秋 絹本着色 一幅 京都市 某氏藏

三船過孟浪梯 紙本墨畫 一幅 長野縣 開善寺藏

文展第六回出品

菊池芳文

名は充興、通稱常次郎、文久二年九月十七日大阪に生る。明治十二年滋野芳園に就き、同十四年幸野模嶺に師事す。同二十七年京都市美術學校教諭、同四十年文展審査員となり、同四十二年京都繪畫專門學校教授に就任す。大正七年一月十八日歿、享年五十七歳。

齒花鳥 絹本着色 二曲一雙 京都市 長野清一郎氏藏

五櫻花小禽 絹本着色 一幅 京都市 林新助氏藏

六雨中白鷺 絹本着色 一幅 京都市 菊池契月氏藏

七吉野山春雨 絹本着色 一幅 京都市 田附政次郎氏藏

八野梅 絹本着色 一幅 京都市 川村治郎兵衛氏藏

江上瓊山

名は景逸、文久二年長崎に生る。南宗畫を高見守山に學ぶ。大正十三年十月八日歿、享年六十三歳。

九竹林幽棲 絹本着色 一幅 京都市 内貴清兵衛氏藏

〇群峰百泉 絹本着色 一幅 岡山縣 久我於兔一郎氏藏

二玉堂富貴 絹本着色 一幅 京都市 石田吉左衛門氏藏

田近竹邨

名は岩彦、元治元年四月豊後竹田町に生る。始め藤野桂僊に就き、後田能村直入の門に入る。京都府畫學校出身。大正八年帝展推薦となり、同十年三月山田介堂池田桂仙等と共に日本南畫院を創立す。同十一年三月十一日歿、享年五十九歳。

三漁樵問答 絹本淡彩 六曲屏風 一雙 大阪市 松下齊藏氏藏

三 秋江漁父 絹本淡彩

一幅 京都市 土橋嘉兵衛氏藏

鈴木松年

名は賢、字は百隣、嘉永元年六月十四日京都に生る。鈴木百年の男、書を父に學ぶ。大正七年一月二十九日歿、享年七十歳。

四 飛 瀑・紙本墨畫

一幅 京都市 石田放光堂氏藏

五 惠比須神 紙本淡彩

一幅 京都市 荒川益次郎氏藏

六 山 水 紙本墨畫

一幅 京都市 佐々木久彌氏藏

七 宇治川合戦 絹本着色

六曲屏風 一雙 京都市 吉居 佐助氏藏

八 十六羅漢 絹本着色

雙幅 京都市 鈴木 務氏藏

三宅吳曉

名は清之助、慶應元年京都に生る。森川曾文に學び、後京都市美術學校教諭となる。大正八年八月二十五日歿、享年五十六才。

九 松 に 鷺 紙本墨畫

一幅 京都市 簗和田益二氏藏

〇 人 形 賣 金地極彩色

二曲屏風 一雙 京都市 澤渡源兵衛氏藏

一 魚 野 菜 絹本着色

二曲屏風 半雙 京都市 堀井長次郎氏藏

今尾景年

名は永勸、字は子裕、幼名猪三郎、弘化二年八月十二日京都に生る。十一歳梅川東居に學び、後鈴木百年に入門す。明治三十七年帝室技藝員拜命、同四十年文展審査員、大正八年帝國美術院會員となる。同十三年十月五日歿、享年八十歳。

二 四 季 花 鳥 絹本着色

六曲屏風 一雙 京都市 前田奈良三郎氏藏

三 老 松 絹本墨畫

六曲屏風 二雙 京都市 山口 玄洞氏藏

四 櫻 花 双 鷄 絹本着色

二曲屏風 一雙 京都市 平井仁兵衛氏藏

五 秋 江 蘆 雁 絹本淡彩

一幅 京都市 内貴清兵衛氏藏

河村虹外

名は祉、文久元年六月若狭小濱に生る。重春塘に學び、その畫業を襲ぐ。昭和七年三月歿、享年七十二歳。

六 竹 林 七 賢 絹本着色

一幅 西宮市 村上朝七氏藏

七 蓬 萊 山 絹本着色

一幅 京都市 桑原武夫氏藏

八 漁 樵 問 答 絹本着色

一幅 京都市 山口 玄洞氏藏

山元春舉

幼名寛之助、後同姓金右衛門の後嗣となりその名を襲ぐ。明治四年十一月大津に生る。始め野村文舉に就き、後京都に出で森寛齋に師事す。明治三十二年五月京都美術工藝學校教諭、同三十七年六月渡米、同四十二年京都繪畫專門學校教授に就任し、明治四十年文展審査員、大正六年帝室技藝員を拜命、同八年帝國美術院會員となる。昭和八年七月十二日歿、享年六十三歳。

九 山 市 紙本墨畫

一幅 東京市 平尾 賛 平氏藏

一〇 藤 に 雀 絹本着色

一幅 京都市 内貴清兵衛氏藏

一一 しぐれ来る瀨峽 絹本着色

一幅 京都市 山元 清 秀氏藏

帝展十二回出品

一二 秋 溪 瀑布 絹本着色

一幅 京都市 内貴清兵衛氏藏

一三 奥 山 の 春 絹本着色

一幅 東京市 中村利器太郎氏藏

田中一華

名は榮次郎、京都の人。久保田米僊に學ぶ。大正十三年歿。享年不詳。

一四 海 棠 孔 雀 絹本着色

一幅 京都市 飯田 新 七氏藏

岸駒摸寫

一五 椿 に 流 水 絹本着色

一幅 京都市 飯田 新 七氏藏

一六 花 瓶 紙本淡彩

六曲屏風 半雙 京都市 飯田 新 七氏藏

都路華香

本姓辻、名は宇之助、明治三年十二月二十三日京都に生る。十一歳幸野樸嶺の門に學ぶ。大正十三年帝展委員、同十四年七月帝國美術院會員となり、同十五年三月京都繪畫專門學校長に就任す。昭和六年八月四日歿、享年六十二歳。

一七 十 牛 紙本着色

十幅 京都市 河合忠次郎氏藏

一八 埴 輪 紙本着色

二曲屏風 一雙 京都市 藤田徳次郎氏藏

文展第九回出品

一九 閑 雲 野 鶴 絹本着色

六曲屏風 一雙 京都市 内貴清兵衛氏藏

文展第七回出品

二〇 松 の 月 紙本墨畫

一幅 京都市 飯田 新 七氏藏

文展第四回出品

二一 十 牛 圖 紙本墨畫

一卷 京都市 建仁寺僧堂 藏

浅井忠

幼名は忠之丞、後常保、更に忠と改む、號默語。安政三年六月二十一日江戸に生る。佐倉藩士伊織常明の子、九歳藩の畫家黒沼槐山に就き、後明治八年國澤新九郎の彰技堂に洋畫を學び、更に同九年工部省美術學校洋畫科に入る。同十二年東京師範學校圖畫教員、同二十七年明治美術學校、同二

十九年東京美術學校に教授、同三十二年高等師範學校西洋畫講師となり、同年洋畫研究の爲二箇年間佛蘭西に留學す。三十五年京都高等工藝學校教授に就任、四十年文展審査員となる。同年十二月十六日歿、享年五十二歳。

- | | | | | |
|-----------|------|----|-----|-----------|
| 二三 剽 盜 | 紙本淡彩 | 一幅 | 京都市 | 磯田多佳子氏藏 |
| 二三 老子出關之圖 | 紙本淡彩 | 一幅 | 京都市 | 加藤源兵衛氏藏 |
| 二四 鍾 馗 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 鶴卷鶴一氏藏 |
| 二五 蝦蟇仙人 | 絹本淡彩 | 一幅 | 京都市 | 京都高等工藝學校藏 |
| 二六 桃太郎鬼征伐 | 絹本着色 | 雙幅 | 京都市 | 中澤岩太氏藏 |

富岡鐵齋

名は百鍊、字は無僊、通稱猷輔、天保七年十二月十九日京都に生る。藤本鐵石に六法を問ひたる他に師なし。大正六年帝室技藝員拜命、同八月帝國美術院會員となる。同十三年十二月三十日歿、享年八十九歳。

- | | | | | |
|-----------|------|----|-----|---------|
| 二七 觀 音 像 | 紙本墨畫 | 一幅 | 京都市 | 田中新一郎氏藏 |
| 二八 瀛洲僊境之圖 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 田中新一郎氏藏 |

池田桂仙

名は政昌、通稱勝次郎、文久三年九月伊勢國津に生る。南宗畫家池田雲樵の男。始め父に就き、後

京都府畫學校に學び業を卒ふ。大正八年日本自由畫壇を創設。昭和六年十二月二十七日歿、享年六十九歳。

- | | | | | |
|---------|------|---------|-----|----------|
| 二九 蘭亭脩禊 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 河合忠次郎氏藏 |
| 三〇 山 水 | 絹本着色 | 六曲屏風 一雙 | 京都市 | 淺田治郎兵衛氏藏 |
| 三一 秋景山水 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 石田吉左衛門氏藏 |
| 三二 白雲山居 | 絹本墨畫 | 一幅 | 京都市 | 池田琢子氏藏 |
| 三三 蘆に群雁 | 紙本淡彩 | 一幅 | 京都市 | 内貴清兵衛氏藏 |

山田介堂

通稱已三郎、明治二年福井に生る。初め細谷立齋の門に入り、後富岡鐵齋に畫法を問ふ。大正十三年九月十七日歿、享年五十六歳。

- | | | | | |
|---------|------|---------|-------------|--------|
| 三四 米法山水 | 紙本墨畫 | 一幅 | 東京市侯爵細川護立氏藏 | |
| 三五 綠蔭如雲 | 絹本着色 | 一幅 | 京都市 | 林新助氏藏 |
| 三六 田家夏日 | 紙本淡彩 | 一幅 | 大阪市 | 白川朋吉氏藏 |
| 三七 牧 牛 | 絹本着色 | 六曲屏風 一雙 | 大阪市 | 松下齊藏氏藏 |

田村宗立

號月樵、弘化三年丹波に生る。後京都に移り、大林無言、ポーレンの門に學ぶ。大正七年七月十日歿、享年七十三歳。

二六 觀 音 紙本墨畫

一幅 京都市 田村トモ氏藏

二九 大 涅槃 絹本着色

一幅 京都市 田村トモ氏藏

三〇 雲 龍 紙本墨畫

襖八枚 京都市 建仁寺僧堂藏

田中栢陰

名は啓、慶應二年靜岡縣に生る。後京都に移り、田能村直入の門に學ぶ。昭和九年六月歿、享年六十九歳。

三三 秋 景 山水 絹本着色

六曲屏風 一雙 大阪市 松下齊藏氏藏

東京文化財研究所



2501026716